

H30第2回学校評価質問紙回答より

浅春の候，ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご支援いただき，厚く御礼申し上げます。今年度も残すところあとわずかとなりました。子どもたちも進級・進学を意識し，まとめの学習を進めているところです。

さて，2月には学校評価にご協力いただき，ありがとうございました。以下に質問紙回答結果の報告をさせていただきます。結果と共にこれまでの教育活動を振り返り今後の改善に努めてまいりますので，今後ともよろしくお願いいたします。

児 童

質問項目	実現度	質問項目	実現度
学校の学習がよくわかること	8.3	基礎的な学習内容を理解すること	7.4
話をしっかりときくこと	8.1	話をしっかりと聞くこと	7.1
相手にわかるように話すこと	7.6	相手に分かるように話すこと	6.9
自分の思いや考えを書くこと	8.3	自分の思いや考えを書くこと	6.7
毎日、家庭学習をすること	8.3	家庭学習の習慣を身に付けること	7
毎日、家で読書をする	6.1	読書の習慣を身に付けること	6
楽しく学校に通うこと	8.7	楽しく学校に通うこと	8.6
友だちとなかよくし、力を合わせる	8.7	なかよく協力し合って学校生活を送る	8.3
友だちやまわりの人たちを大切に	8.7	相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつ	7.9
進んであいさつをすること	8.1	進んであいさつをすること	7
場に応じた言葉づかいをすること	8.1	場に応じた言葉づかいをすること	6.9
学校や学級のきまりを守ること	8.4	ルールを守り、マナーを身に付ける	7.6
「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの生活リズムを付ける	7.9	「早寝・早起き・朝ごはん」・排便・歯磨きの習慣を付ける	7.6
運動に親しみ、健康な体をつくる	8.6	運動に親しみ、運動能力を向上させる	7.6
食の楽しさを味わい、進んで食べる	8.6	食の楽しさを味わい、進んで食べる	8
危険から身を守り、安全に生活	9.1	危険から身を守り、安全に生活	7.9
こまったことがあったとき、家の人や先生にそうだん	7.9	学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知る	7.1
学校をきれいにするために、そうじ	8.9	教職員に気軽に相談できる	7
学校・PTA・地域の行事に参加	7	教室・廊下等の環境が整備されている	7.4
		子どもに学校の様子を聞く	7.4
		学校・PTA・地域の行事に参加	6.6
		学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てる	7.1

10ポイント（10p）満点で表示。

H30 第 1 回学校評価と比べ

0.3p 以上の上昇に ↑ 下降に ↓ を記す。

地 域

質問項目	実現度	質問項目	実現度
学校が児童の学力向上に向け取り組むこと	7.1	基礎的な学習内容を理解する力を付けること	7.3
子どもたちが、進んであいさつをすること	3.7	話をしっかりと聞く力を付けること	6.6
子どもたちが、場に応じた言葉づかいをすること	5.4	相手に分かるように話す力を付けること	6
子どもたちがルールを守り、マナーを身に付ける	6.6	自分の思いや考えを書く力を付けること	7
子どもたちが運動に親しみ、運動能力を向上させる	7.7	家庭学習の習慣を身に付けること	7.7
子どもたちが危険から身を守り、安全に生活	7.1	読書の習慣を身に付けること	7.6
学校便り・ホームページ等で情報を発信	8.3	楽しく学校に通っていること	8.4
学校の教育環境が整備されている	7.1	なかよく協力し合って学校生活を送っている	8.7
教職員がPTA・地域の行事に参加	6	相手の気持ちを尊重できる優しい心をもっている	7.7
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てる	7.7	進んであいさつをしている	6.6

結果分析について

もうすぐ春ですね



児童の結果

第1回と比べ，実現度に大きな差はありませんでした。その中でも「自分の思いや考えを書くこと」が上昇しました。その他の学習に関わる項目でも大きな落ち込みはないことから，基礎的な学力は定着しています。さらに，家庭学習の実現度も高く，それらは，ジョイントプログラム等の結果にも表れるなど，学力は少しではありますが向上しています。

「毎日，家で読書をする」が他の項目と比べて低かったです。それは，ゲーム機やスマホなどが児童に普及しており，図書以外で情報を得たり楽しんだりするためのツールが豊富にあることが考えられます。今年度より本校の図書館活用の研究推進が児童の家庭における読書生活に影響を及ぼすまでには至らず，来年度の研究では成果が表れるようにしたいです。

保護者の結果

児童は楽しく学校に通い，基礎的な学習内容が定着していると感じています。「相手に分かるように話すこと」「自分の思いや考えを書くこと」「『早寝・早起き・朝ごはん』・排便・歯磨きの習慣を付けること」「食の楽しさを味わい，進んで食べる」の実現度が上昇しました。

「書くこと」の項目の上昇は，児童の結果ともつながっており，学習の成果を保護者の方も感じ取ってくださっていることが分かります。また，「早寝・早起き」「食べる」のポイントの上昇は，担任が養護教諭や栄養教諭と連携して行った生活点検週間や日頃の保健指導や栄養指導の成果と言えます。今後も継続していきたいと考えます。

地域の結果

第1回より全体的に実現度が下がっています。児童の様子では登下校のマナーや挨拶、交通安全への意識が第1回に比べ課題が残るという結果でした。特に、「子どもたちが、進んであいさつをすること」の実現度に大きな下降が見られました。第1回では概ね評価していただいていただけに、年間を通じて指導できなかったことが反省点です。教職員によるあいさつ運動など年間を通して継続的に取組を進めていく必要があります。

「学校便り・ホームページ等で情報を発信すること」については、ポイントの下降は見られたものの高く評価しています。今後も、学校便りやホームページなどから学校の教育活動や児童の様子を引続き発信し続けていきたいです。

教職員の結果

多くの項目で実現度が上昇しました。特に「読書の習慣を身に付けること」が第1回 6.6p から 7.6p と大きく上昇。また、「自分の思いや考えを書く力を付けること」についても第1回 6.3p から 7.0p と大きく上昇しました。今年度より図書館活用の研究推進により、本を手取る機会が多くなったことが読書に対する評価につながったのではないかと感じています。また、書く力については、児童や保護者と同様に教職員の評価も上昇しており、今後も継続して定着を図っていききたいです。一方、「話をしっかりと聞く力を付けること」はやや下がっています。日頃の授業で対話する場面を積極的に取り入れ、話したり聞いたりする活動を意識して指導していきます。

本校の課題は「教室・廊下等の環境を整備すること」であるといえます。児童と教職員が協力して清掃活動に取り組み、児童会活動や学級活動などでも校内の環境整備に力を入れていきます。



全体の傾向・今後の課題について



今回の分析では、第1回と比べて児童、保護者ともに実現度に大きな変化は見られませんでした。第1回のときも前年度と比べて同様の結果であったことから、児童と保護者において高い実現度の項目は引続き評価している一方で、課題に対しては大きな改善が見られないということが分かります。また、地域と教職員の評価に大きな開きが見られました。児童を見守る保護者・地域・教職員の3者が同じ目線で関わり合えるようにしていく必要があります。そのためにも、本校が抱える課題を共通で認識する場を設け、それらに対して3者がどのような手立てをうつのか具体的な案をもつこと、そして、手立てに対して成果は見られたのかどうか検証する必要があると考えています。

先日の京都市小学校大文字駅伝大会において、本校の初出場を学校と保護者と地域が連携を取り合いながら一体となって応援に取り組むことができました。今後も、学校運営協議会や各行事において保護者や地域の皆様からお声をいただきながら協力して本校の教育活動を推進していきたいと考えています。

確かな学力

基礎的な学習内容を理解することを課題として、今年度は算数科と図書館活用を切り口とした授業改善に取り組み、基礎的な学力の定着に成果が見られました。8割以上の児童において学習がよく分かるとなっています。前回課題としていた「話をしっかりと聞く」「分かりやすく話す」は、取組をさらに進めた結果、保護者にも成果が伝わったようです。しかし、教職員の評価にまでは至っておりません。今後も、新学習指導要領にも示されているように、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に努めていきます。

「家庭学習の習慣を身に付けること」については、児童・保護者・教職員共に実現度の上昇が見られました。家庭学習においては、児童が家庭でしっかりと学習に向かう環境を整えること、また、保護者の方の点検や励ましの声かけが不可欠です。引き続き、ご家庭でもご協力をお願いします。

豊かな心

「楽しく学校に通うこと」「なかよく協力し合って学校生活を送ること」の評価が高いポイントで維持しています。今年度は算数科の学習を中心に「道徳性・規範意識」「思考力」「言葉による伝え合い」を大切に学習を積み重ねてきました。生活面だけでなく授業面からも児童の心にアプローチしたことが成果につながったと思われます。今後も楽しく分かる授業づくり、安心できる学級づくりを目指し、更なる成果へつながるよう努めていきます。

挨拶に関しては、地域の実現度が大きく減少しました。児童・保護者・教職員の実現度はいずれも微増であり、評価者による実現度の違いが見られます。授業でのスキルアップやあいさつ運動などの取組をさらに発展させて実施できるようにし、校内や家庭にとどまらず地域全体にまであいさつの輪が広げられるようにしていきます。

健やかな体

「運動に親しませ、運動能力を向上させること」は全体的に高い評価です。第1回では児童に比べやや低かった保護者と教職員の実現度も少しではありますが上昇しました。朝ランニングや体育委員会主催の様々な運動が評価につながったと感じています。体育科の学習や部活動のみならず様々な機会でも運動に親しめるような企画を考えていきます。

「危険から身を守り安全に生活する」項目に関しては、児童の実現度が依然として高い数値を示しています。災害が多かった今年度を振り返る中で、児童の高い実現度は、学校と保護者と地域が協力して防災・防犯に関する取組を行っているからと思われます。今後とも教職員・保護者・地域が一体となって児童の安全意識を高めていきたいと思います。

自由記述より



自由記述につきまして本紙で全てお答えするのは難しく、第1回同様、それぞれのご意見に関しては、各担任を通じてお話しできればと考えております。今後ともいただいたご意見を真摯に受け止め、教職員一同一丸となって教育実践を重ねて行きますのでよろしくお願いします。学校質問紙回答へのご協力、ありがとうございました。